

大阪府歯科技工士会中央南支部学術講演会

2021.9.5(日)

演題：『補綴修復治療における歯科技工士の役割』

～デジタル時代だからこそ必要な技術・知識～

■ 抄録

補綴治療を成功に導く上で歯科技工士にとっても不可欠なことは、治療ゴールのイメージを歯科医師と共有することです。我々、歯科技工士は補綴チームの一員として審美的調和のみならず機能的調和・生物学的調和をトータルで達成すべく技術的研鑽と知識の修得につとめ補綴治療の成功に貢献しなければなりません。

今後、歯科医療界にますますデジタルテクノロジーの進化、発展によりさらにその波は加速すると思われませんが歯科治療の本質は変わりません。そしてそのような時代になればなるほど『物作り』ではなく補綴治療の目的・概念を理解し歯科技工をおこなうことが大切です。

本日はデジタルへの対応も含め、どのように学びどのように考えれば補綴治療を成功に導けるのか？をテーマに“実践的”に知識と技術を臨床に落とし込み治療結果に反映した症例を通して皆様に臨床体感をしていただきたいと思います。またこれからの時代を担う若手技工士の正しい学び方と実践についてもお話をさせていただきます。